

Obbligato III / IFS Applications™ 導入事例

CKD株式会社 様

引き合い～設計～生産～出荷までの一連の業務を可視化 受注設計生産の「納期遅れゼロ」に貢献



CKD株式会社
自動機械事業本部
開発部 部長
野田 尚彦 氏



CKD株式会社
購買本部 調達部
第4グループ グループリーダー
小坂 武令 氏



CKD株式会社
情報システム部
システム運用グループ
鈴木 政臣 氏

事例のポイント

課題背景

- 受注から出荷に至るリードタイムを短縮したい
- 業務をパッケージに合わせることで、業務改革も実現したい
- 世の情報漏えい事故を受け、セキュリティ対策を強化したい

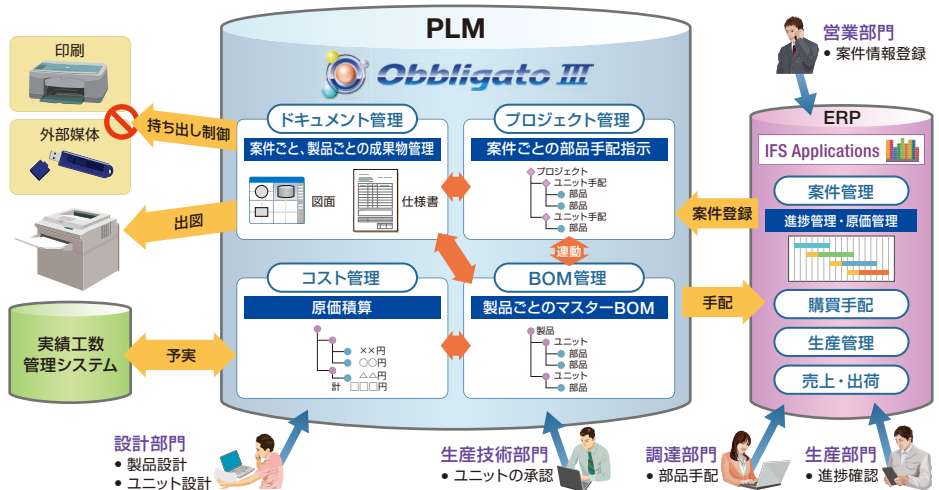
成 果

- **リードタイム短縮**
五月雨出荷・五月雨手配に対応。迅速で正確な部品手配により工程を短期化
- **納期遅れゼロに貢献**
進捗状況の可視化などの業務改革で納期遅れがほぼゼロに
- **セキュリティ強化**
持ち出し制御やアクセスログ管理などで情報漏えいリスクを軽減

導入ソリューション

● CKDの新システムの全体イメージ

個別案件情報の全社共有により開発リードタイム短縮を実現



製品の引き合いから、受注、設計、部品調達、生産、出荷に至るトータルなプロセスが、Obbligato IIIとIFS Applicationsの連携基盤の上に集約、統合化されている。

CKD

社 名: CKD株式会社
所 在 地: 愛知県小牧市応時2-250
資 本 金: 110億1600万円
売 上 高: 単体 721億4800万円、
連結 833億7900万円 (2015年3月末)
従 業 員 数: 単体 1,966名、連結 3,166名 (2014年3月末)
概 要: 1943年に航空機の電装部品などの製造販売を手がける日本航空電機株式会社として設立。その後、真空管製造装置や蛍光灯製造装置などの自動機械装置、空気圧機器や流体制御機器の開発、設計、製造を開始。国内はもとより、海外にも数多くの顧客を獲得している。



導入前の背景や課題

システムの個別最適化が 開発リードタイム短縮の阻害要因に

様々な自動機械装置を開発、提供しているCKD様。特に錠剤やカプセル状の薬品を密封保存する自動包装システムの分野では、国内トップシェアを誇っています(※)。

自動機械は、受注設計生産となっており、顧客の発注を受けると、個別要件に沿って設計を行い、

調達、生産、納品に至ります。一連のプロセスには、営業、設計、購買、生産など、様々な部門が関与するため、設計・生産リードタイムを短縮しつつ、高品質な製品を提供するには、業務を可視化して、情報を共有することが必要不可欠です。しかし、同社は、各業務を担うシステムを個別に構築してきており、それが業務の可視化を阻害していました。「進捗を把握するには、他部門のシステムにアクセスするか、ミーティングで確認

するしかありませんでした」と同社の野田尚彦氏は振り返ります。場合によっては、生産管理の担当者が社内を行き来して、関係者に状況を確認して回っていたといいます。

また、マスタデータが存在しないため、データを二次利用することはありません。「例えば購買部門は、図面を基に独自の発注リストを作成し、システムに登録して、発注業務を行っていました」と小坂武令氏は言います。

※CKD様独自の調査による

選択のポイント

パッケージに全ての業務を集約し、 業務改革も同時に断行

そこでCKD様は、システムの全面的な見直しに着手。引き合いから、受注、設計、調達、生産、出荷に至る全業務を統合的にカバーすることはもちろん、BOM連携による部品手配が可能なこと、可能な部分から生産活動を前倒しで進めるための「五月雨出図・手配」に対応できること、といった要件を掲げ、複数のベンダーに提案を依頼しました。複数の提案を比較し、最終的に同社が採用したのがPLMソリューション「Obbligato Ⅲ」を中

核に、ERPソフト「IFS Applications」を連携させたNECの提案です。

「最も評価したのは、唯一パッケージを活用していた点です。受注設計生産にパッケージを適用するのは困難という他ベンダーの意見もありましたが、我々は、多くのユーザーの知見が盛り込まれたベストプラクティスをベースに、業務改革も同時に実践したいと考えたのです」と野田氏は語ります。

具体的には、IFS Applicationsが案件管理、購買管理、生産管理、売上・出荷管理などを担い、Obbligato Ⅲが、プロジェクト管理、製品構成

管理、ドキュメント管理、コスト管理など設計を中心とする業務を担うシステム構成となっており、あらゆる情報が自動的に両システム間で同期されるようになっています。

「全部門がプロジェクトの進捗を常に把握できる上、システム上で一元管理された情報を基に各業務を行うことができます。生産の進捗が正確に把握できる上、営業部門が案件を登録しただけで設計を開始できる、設計部門が五月雨出図したら、即応して部品を手配できるなど、リードタイムの短縮も見込めます」と鈴木政臣氏は言います。

導入後の成果

数々の業務改革の成果との相乗効果で 「納期遅れゼロ」を実現

Obbligato Ⅲを中心とした新システムによる同社の業務変革は確実に成果を上げています。

例えば、頻繁にミーティングを行わずとも、常に全員で進捗を共有可能。仮にいずれかのプロセスで遅延が発生しても、直ちにリカバリすることができます。

また、マスタデータが整備されたことで、部門システムごとにデータを登録するといった作業が不要になり、従来、平均で約6日かかっていた出図から部品手配指示までの工程、約7日を要し

ていた部品手配指示から発注までの工程は、各々約2日に短縮されました。

「これらの成果と、かねてから取り組んでいた様々な業務改革の成果による相乗効果で、現在は「納期遅れゼロ」を実現しています。さらに設計者が部品の原価実績などを加味しながら設計作業を行えるようになったことは、コスト削減や原価精度の向上にもつながると期待しています」と野田氏は言います。

さらに、利用者ごとに閲覧可能な情報を制限するアクセス制御や、アクセスログ管理に加え、外部メディアやメールへのデータコピーを制限する「持ち出し制御」の仕組みを実装し、情報漏え

いリスクを抑止している点も大きな成果となっています。

「ほかにも、現場の要請を受けて画面の項目配置を変更するなど、細かなカスタマイズを手軽に行える点もObbligato Ⅲのメリットだと感じています」と鈴木氏は言います。

今後、CKD様は、モジュール化設計や3次元CAD化などの導入を検討しています。「Obbligato Ⅲの機能強化も含め、NECには、これからも我々の事業をしっかりと支えてくれることを期待しています」と野田氏は最後に強調しました。

お問い合わせは、下記へ

NEC 製造・装置業システム開発本部
PLMコンサルティンググループ

TEL: 03(3456)7474

E-mail: oblsales@cpc.jp.nec.com

URL: http://jpn.nec.com/obbligato/

●Obbligatoは、日本電気株式会社の日本、米国、中国、香港、台湾、シンガポール、タイおよびその他の国における商標、または登録商標です。
●本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
●このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。